

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2018年(平成30年) 5月1日 第131号

「メレル・ヴォーリスの療養処方箋」の継承 ～開院100周年を迎えて～

看護部長 岡田 幸子



ヴォーリスの里も桜の季節から新緑の季節を迎えようとしています。新たな木々の息吹に力をもらいながら、新入職19名の仲間と共に新年度をスタートいたしました。

当院は今年5月25日に開院100周年を迎えます。1918年創立者ウィリアム・メレル・ヴォーリスによって当時「不治の病」と恐れられ、死亡原因の1位を占め多くの若者が発病している状況を憂い、結核療養施設として開院した「近江療養院」が原点です。100年の歴史(経路)を知り、現在(遺産)の立ち位置を確認し、未来(理+業+標)に向けて「アイデンティティ」の考え方を道しるべとして、各部門が次世代につなげる目標を作成中です。

看護部においては、1916年1人の看護婦「山下柔い氏」から歴史がスタートしています。開院に合わせ5名が看護婦として「メレル・ヴォーリスの療養処方箋」を基盤として看護を実践していました。2000年に「ナイチンゲール看護論」を看護の原理として導入しました。過去の歴史(経路)を紐解くと当院の看護が大切にしてきたことが理解できます。「メレル・ヴォーリスの療養処方箋」は①新鮮なる空気を昼夜用いること②十分なる睡眠③滋養分に富みたる適量(分量)の食物④清潔簡素なる生活⑤主イエスに全身全霊を託したる信仰生活⑥少量の服薬とあります。そして「フローレンス・ナイチンゲール」は「看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静けさなどを適切に整え、これらを活かして用いること、また食事内容を適切に選択して適量を与えること、こういった事の全てを患者の生命力の消耗を最小限にするよう整え、そして生命力を高める援助を行う事を意味すると述べています。看護が何をなすべきかが見事に共通するのです。わたしたちが看護原理に置く「看護覚え書き」の中には「メレル・ヴォーリスの療養処方箋」にある項目が詳細に記されているのです。100年前にヴォーリスが病む人々のために選んだこの地は、美しい景色と静けさ、澄んだ空気など真に憩うために必要な場所であったと考えます。この環境の中で今わたしたちがなすべき事それは、看護部理念「私達はその人らしさを大切に全人的看護・介護を提供します」にあります。患者さんの生きてきた環境や価値観を「その人らしさ」と捉え、病気や障害を抱えながらもその人らしい生活が営めるよう療養上の世話を行なう事、そしてそのためには全人的アプローチが必要であることを意味しています。全人的側面をメレル・ヴォーリスは信仰という言葉で表していますが療養生活からくる精神的・霊的側面の助けを意味していたのです。

「アイデンティティ構築」を通じて思う事それは、創立者ウィリアム・メレル・ヴォーリスの大切にされた「理(ことわり)」理念＝「隣人愛」と「奉仕」の業です。時代背景は変わり当院の機能、役割は変わっても、「メレル・ヴォーリスの療養処方箋」と理念は継承すべき遺産です。それを実現すべく「行(行い)」「標(しるし)」を推進して行きたいと思えます。ナイチンゲール看護論に導かれた看護を実践するために、人をそして健康を、より高めていく歩みを前進させていく看護の実践家として成長出来る看護師育成を目指したいと、こころ新たにしています。

記念すべき開院100周年にヴォーリス記念病院の一員として迎えることが出来感謝です。

101年目のあゆみを始める当院に対して引き続きご支援の程よろしくお願い致します。

**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

新連載!

キリスト教の 歳時記

第2回 ペンテコステ



チャプレン 安部 勉

キリスト教では宗派を問わずに祝われる三大行事があります。それは「イースター」「クリスマス」そして「ペンテコステ」です。

クリスマスは日本でも知れ渡っています。イースターはまだ皆さんに知られていません。そこで、4月号にイースターを紹介いたしました。このイースターから50日目を迎えてお祝いするのが「ペンテコステ」です。日本語では「五旬祭」とも言われます。「旬」は10日を意味するので50日の祭りという意味です。ペンテコステとは50日という意味なのです。

聖書ではイースターに復活されたイエス様が50日の間、弟子たちと共に地上で過ごされ、

再び、神さまの元へと旅立たれたとあります。そしてその後、弟子たちに「聖霊」が下ったとあります。その後、弟子たちは共に主を賛美し、「イエス様の愛」を人々に伝える礎を持ちました。それが「教会」となっていったのです。ペンテコステは「教会の誕生日」としてお祝いする日でもあるのです。



ヘルシークッキング 5月

じゃが芋とベーコンのカレー炒め



【材料（二人前）】

・じゃが芋	2個
・ベーコン(薄切り)	2枚
・バター	大さじ1
・カレー粉	小さじ1/2
・薄口醤油	小さじ2
・みりん	小さじ1

【作り方】

1. じゃがいもはスライサーなどでせん切りにし、水にさらして水気をきる。
2. ベーコンは5~7mm幅に切る。
3. フライパンにバターを溶かし、(1)を透き通るまで炒め、(2)を加えてさらに炒め、カレー粉、薄口醤油、みりんも入れてざっと炒め合わせる。



【じゃが芋】

日本の食卓に馴染みの深い「じゃが芋」。日本以外の国でも多く食用とされており主食にされている国もあります。世界的にも古くから食用とされていたじゃが芋ですが、日本に普及したのは遅く、明治時代になります。この頃から欧米品種の導入が始まりましたが、日本人の嗜好に合わず好まれていなかった様です。本格的に食卓に使われるようになったのは大正中期で、本格的な品種改良が行われて現在の様々な品種のじゃが芋が栽培されるようになりました。また、生育に必要な期間も短く、あまり高い温度も必要としない栽培効率の良い作物で、第二次世界大戦後はさつまいもと共に貴重な主食として重用さ

れました。

また、じゃが芋は栽培面以外に栄養面でも優れた作物です。じゃが芋にはビタミンB群・Cやミネラル成分が豊富に含まれ、特にビタミンCはみかんと同量が含まれており、加熱にも強いことも特徴的で美容にも効果的です。また、高血圧の予防にも有効なカリウムや豊富な食物繊維は、便秘解消にも有効です。但し、芽の部分や緑色に変色した部位には、ソラニンという毒素が含まれるため注意が必要です。発芽したじゃが芋や古くなったじゃが芋は気を付けて芽を除き、緑色に変色した部分は厚めに皮を剥くなどして用いるとよいでしょう。

報告1

在宅療養支援部 紹介

在宅療養支援部長 三ツ浪 健一

当院は2014年9月1日から「在宅療養支援病院」になり、患者さんが在宅療養されるのを支援しています。2015年11月1日からは「機能強化型在宅療養支援病院」となり支援体制を強化したところですが、さらなる充実のために2018年1月「在宅療養支援部」を設立しました。これは「在宅療養支援課」（退院支援充実、退院後訪問指導実施のため2016年4月看護部に設置）と「地域医療課」から成る「患者支援センター」に、医師の事務作業を補助する「診療支援室」機能を加え、さらに在宅療養支援に関わる全ての職種を集結させて、在宅療養支援内容を大幅に充実させる機能的集合体です。具体的には、医師（訪問診療、緊急往診）、看護師（在宅からの予約入院患者入院

前情報収集、医療処置が必要な患者に対する訪問診療同行、退院前訪問、退院後訪問、退院支援）、社会福祉士（入院調整、社会資源情報提供）、医療クランク（訪問診療先への事前連絡および準備、訪問先への医師との同行）、事務員（入退院登録、在宅医療事務）、薬剤師（在宅患者訪問薬剤管理指導）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（在宅患者訪問リハビリテーション指導管理）、管理栄養士（在宅患者訪問栄養食事指導）が、それぞれの患者さんの必要に応じて協力して在宅療養を強力に支援します。在宅療養支援病院の機能的な中核となる部門ですので、在宅療養についてどんなことでも気軽にご相談ください。

報告2

平成29年度 ヴォーリズ記念病院 がんセミナーに参加して

薬局 北川 智 砂

私は3月17日（土）、今年度第3回目のがんセミナーに参加させて頂きました。今回はホスピス病棟でお母様を看取られた田辺恵さんにご講演頂きました。

田辺さんは、明るい色のとても素敵な帽子をかぶっておられました。講演の中で、それは亡くなられたお母様が生前に作られた、お母様とお揃いの帽子であると話されていました。

そのお母様は、ご自身の病気についてどのくらい知っておられたかは分かりませんが、告知はされていませんでした。田辺さんは告知をしようか悩まれたこともあったけれども、お母様の様子を見て告知しないことにされたそうです。亡くなる数日前に発せられたのは「幸せやわー」という言葉であったそうです。それは介護する家族にとって最も救われる言葉であると思います。もしかしたら薄々気づいておられたのかもしれませんが、もし告知をされていたら不安でいっぱいになり、そのような言葉は発せられなかったかもしれません。

田辺さんも言われていましたが、子育て中の、或いはまだまだ仕事に遣り甲斐を感じている人であれば、告知は必要であると思います。しかし、田辺さんのお母様のように、もう十分に生きて来られて、もうやり残すことはないような方にわざわざ告知をして不安な思いで過ごしているのを見ているのは、介護する家族にとっても大変辛いも

のであると思います。

参加者の感想の中にも告知について書かれている方が何人かおられました。告知をしてもしなくても、その人のために一生懸命に考えていたことは間違っていない」ということで、話はまとまりました。

私もいつかは両親を看取る時が来ますが、その時に田辺さんのお母様のように「幸せやわー」と思って過ごしてくれることを願っています。

現在ホスピス病棟を担当させて頂いていますが、今回の講演を聞いて、改めて患者さんのご家族の気持ちに少し近づけたような気がしました。

今回の講演は、仕事においても私生活においても、色々自分自身に当てはめて考える良い機会となり、この様なセミナーに参加させて頂いたことを感謝しております。



報告3

4月2日 病院入社式

ヴォーリズの里の桜満開の中、2018年度ヴォーリズ記念病院入社式が4月2日（月）にヴォーリズ記念病院礼拝堂にて執り行われました。

今年の新入職員17名、昨年度の中途入職者14名は、安部チャプレン司式のもと誓約式に臨みました。その後、公益財団法人近江兄弟社理事長の三ツ

浪健一医師より、開院100周年という節目の年に入職された皆さんへの歓迎と奨励の言葉を頂きました。午後からは近江兄弟社グループ合同オリエンテーションに出席し、緊張や期待の中、入社1日目を終えました。



報告4

自己啓発セミナーに参加して

薬局 園山 莉加

自己啓発セミナーでは患者さん、または職員にとっての理想の病院についての劇を、それぞれ2チームずつに分かれて発表をしました。劇の設定をチーム内で話し合っている時には、自分の意見を発信していく必要性を感じました。反対に、他のチームの発表を見た時や劇の後に行った振り返りでは、様々な意見が出て、自分だけでは気づくことができなかつたことも多く、人の意見を聞くことも大事だと感じました。これらのことより、互

いの意見に耳を傾け、尊重しあうことの大切さを学びました。また、職員間で円滑な連携をとっていくことが患者さんおよび職員にとっても重要だと学びました。自己啓発セミナーを通じて、より良い医療を提供するために、患者さんへの思いやりだけでなく、共に働く職員への思いやりも忘れずに連携をとって働いていきたいと感じました。今後、理想の病院に少しでも近づけていけるように日々の業務を頑張りたいです。

報告5

3病棟 原田 光

自己啓発セミナーは、ヴォーリズ建築であるウオーターハウス記念館にて行われました。

建物はアメリカの伝統的な建築様式であるコロンニアル・スタイルで、三階建て11室あり、ビルトインタイプの暖炉が5ヶ所、煙突が2本有り、とても多くの部屋があり、各々が気に入った部屋でグループに別れ劇を考え行いました。

看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、事務員等、様々な職種の 신입職員、中途採用の職員が4つのグループに分かれ、病院、医療者側から見た理想の職場、環境と、患者側から見た、理想の病院の

2つのテーマに2グループずつ分かれ、グループの中でリーダーや書記等の役割を割り振り、劇を考え練習し発表をしました。

劇の内容はどのグループもとても素晴らしく、劇が終わった際には、どの様なテーマを持って行ったか、何を伝えたかったかを共有し皆の学びに繋がりました。自己啓発セミナーによって職員同士の中も深まり、同じ職場で働く者としての繋がりの大切さを感じました。今後、自分が仕事で悩んだ時や、初心を振り返った時、この日の事を思い出したい、そう思えた1日でした。

報告6

新入職員の抱負

友愛の家ヴォーリス 中村 茉莉子

里中の桜が咲き暖かな風が吹くなか入社式を迎え、看護小規模多機能型居宅介護「友愛の家ヴォーリス」に入職できたことをとても嬉しく感じております。

新入職員オリエンテーションでは、ヴォーリス建築を巡り歴史や功績を間近で感じ、身の引き締まる思いです。

私は看護師免許を取得後、十数年間病院勤務を続けてきました。病院で患者様に「家へ帰りたい。」と言われることがあり、治療のためとはいえ心苦しい思いをしたこともありました。

また、入院期間は短縮され万全でない状態で退院されることに、ご家族の不安が残ることもありました。

在宅看護に携わる機会を頂いた今、病院で行っていた看護は在宅で続いていたことを実感し、絶え間ない看護が存在していることを誇らしく思いました。「住み慣れた場所での生活がいい。」と思われている利用者様や家族様の不安や苦痛を軽減し、その人らしい生活ができるよう、看護の力を発揮したいと思います。

報告7

リハビリテーション科 作業療法士 松島 由佳

この度リハビリテーション科、作業療法士として採用して頂きました、松島由佳です。

私は大学4年時の長期実習にて、ヴォーリス記念病院で2か月間お世話になりました。実習中にリハビリテーション科の先生方が患者様お1人おひとりに対し真摯に向き合われている姿、実習生に対し優しく丁寧に指導をされている姿を見て、先生方のような作業療法士になりたいという思いが強くなりました。

そして今、憧れていた場所で働く機会を頂け

たことに、とても感慨深い気持ちです。初心を忘れずに責任感と向上心を持ち、自分らしく一歩ずつ成長していきたいです。また、患者様や先生方からたくさんのことを学ばせて頂き、新しいことにどんどん挑戦し続けたいと思っています。自分がいてくれて良かったと思って頂けるような作業療法士を目指して、1つひとつの業務に丁寧に取り組みます。

未熟者ではありますが、何卒よろしくお願い致します。

報告8

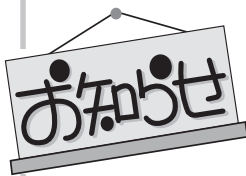
第260回 ミュージックタイム



さる2018年3月24日、「第260回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。

今回はコカリナアンサンブル「におの会」の皆さんの演奏でした。いつも心癒される暖かい音色に心優しく包まれました。



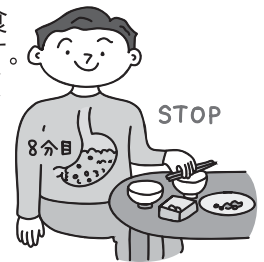


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 6月28日(木) 12:00~13:30 場所 新館研修室(病院内)
講師 看護師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成30年度)

テーマ:『高齢者の生活と健康について』(年間5回)

回数	月日	担当	内容(仮)	講師予定
1	5/24	ヴォーリス老健センター	「認知症の予防 ~脳を元気にしよう~」	ヴォーリス老健センター 課長 村上 温子 氏
2	7/26	ヴォーリス記念病院	「お薬の管理は できていますか? (仮)」	ヴォーリス記念病院 薬剤師 新庄 安宏 氏
3	9/27	在宅サービス部門	「自分の弱点を知り、 強みを維持させよう」	看多機 友愛の家ヴォーリス 作業療法士 戸田利嘉子 氏
4	11/22	ヴォーリス老健センター	「折り紙教室 Part XIV」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏
5	2/21	ヴォーリス記念病院	「健康チェック (仮)」	ヴォーリス記念病院 看護部 吉寺 直美 氏

①対象者 おおむね65歳以上の方定員: 30名

②場所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)

③参加費 無料

④申し込み 往復ハガキで①住所②氏名③年齢④連絡用電話を記入の上、
近江八幡市北之庄町492ヴォーリス記念病院内
介護予防教室係まで(単月の申し込みも受付します)

お問い合わせ: ヴォーリス記念病院内ヘルパーステーション
担当 田井中(Tel32-7130・FAX36-5458)まで

お知らせ

メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体力づくり 病後の方は体力回復
沢山の方がご利用されています。



営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:30 ~ 12:00	△ 11:30 まで	市委託	○	△ 11:30 まで	市委託	---	---
13:30 ~ 17:00	○	○	○	○	○	---	---
17:30 ~ 20:00	---	○	---	---	○	---	---

利用料金
入会金 3,750円

月会費
週3回以上 8,208円
週2回 5,400円
週1回 3,024円

定休日 : 土・日・祝日 年末年始など他にMFCVが定めた休日

市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス
△=当センターのデイサービス利用者の方が優先になりますが一般の会員の方も利用できます。9:30~11:30までの営業です。

休館日

土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階
電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541

患者支援センター

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします!!

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院・開業医の皆様からの受診・入院依頼
...等

お気軽にご相談ください!

TEL (0748) 32-5211 (代)
FAX (0748) 36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側でございます。



健康生活について「出前講座」のご案内 ~ ヴォーリス記念病院 ~

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に向いて『出前講座』を開催しています。皆さまが知りたい、聞きたいと思われる内容について、当院職員が講師として伺います。ぜひご利用下さい。

- ◆対象: 近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など
※企業、医療機関及び介護保険施設等の職場研修は実施していません。
- ◆費用: 無料です。
- ◆開催日時: 日、祝日を除く、9時から17時まで。
- ◆申し込み方法: 電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。
開催が決定したら、正式に申込書をご提出頂きます。
業務の都合によりご希望の日時、講座に添えない場合もあります。予めご了承下さい。



お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL: 0748-32-5211(代表)
FAX: 0748-32-2152
◎ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.vories.or.jp/>
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室まで